

地域の助け合いの輪

吉井地区自治協議会 会長 中尾 静 さん



「地区自治協議会というのは、地域の助け合いの輪です」と話すのは、吉井地区自治協議会の会長を務める中尾静さん。メロンやイチゴなどの生産地として有名な吉井地区ですが、福井洞窟や石橋群などの文化財もあり、緑豊かでのんびりとした時間を過ごす地域です。

平成 25 年 7 月に市内で初めて地区自治協議会を設立し、当初は苦労も多かったそうですが、モデル地区として試行錯誤を重ね、今は「若手の育成」に力を入れているとのこと。「若い人は素晴らしい発想をたくさん持っています。自分から積極的に話し掛け、いろんな意見を受け入れたい。若い人が動きやすい環境を作ってあげて、これからの地区自治協議会の『活動の源』になってほしいです」と熱い思いを話します。

また、中尾さんは「人を信じ、人の意見を受け入れること」が地区自治協議会には大切だといいます。「最近ではアパートなどが増え、隣近所が誰か分からずに地域との関わり合いが薄れてきていますが、一人一人が人を信じ、助け合えば地域の輪も広がりますし、それこそが地区自治協議会の役割でもあります。皆さんにはぜひ町内会（自治会）に加入してほしいですね」と話しました。

吉井地区では地域のことをもっと知ってもらうために「吉井地区自治協議会だより」を発行しています。「地域を知ることが地域の輪を広げることにもつながります。これからも頑張って地域の情報を発信していきますので、ぜひ皆さんにご覧いただきたいです」と笑顔で話していただきました。

※「吉井地区自治協議会だより」はこちらからご覧いただけます。



(取材日：5月29日)

うどんピザ



材料 (2人分)

五島うどん(乾)	160g	チーズ	100g
片栗粉	小さじ2	ヒジキ(戻し)	15g
タマネギ	1/2玉	めんつゆ(ストレート)	
ピーマン	1個		大さじ4
ミニトマト	5個	みりん	大さじ4
ベーコン	1枚	ケチャップ	大さじ2
イカ	20g	片栗粉	小さじ1
マイタケ	1/2株	大葉	2、3枚

作り方

- ①うどんをゆでる。タマネギ、ピーマンを千切りに、ミニトマトは半分に、ベーコンとイカは1センチ幅に切る。マイタケは小房に分ける
- ②ゆであうどんをザルに移す。イカをさっと湯通しする
- ③ゆであうどんに片栗粉をまぶし、混ぜておく
- ④鍋にめんつゆとみりん、片栗粉を入れ火にかける。沸騰したら火を止め、ケチャップを加える
- ⑤クッキングシートにうどんを乗せて押し固める。その上に④の3/4量をかけのばし、大葉以外の具を上に乗せる
- ⑥250℃のオーブンで5分程焼き、チーズに焦げ目が付いたら④の残り千切りにした大葉をのせる

1人分の栄養価

熱量 353Kcal、たんぱく質 13.1g、脂質 10.1g
カルシウム 182mg、食塩相当量 2.4g

●平成29年度ヘルシークッキングコンテスト「アイデア賞」



考えていただいた人
鹿間星夜さん
(商業高校3年・当時)

●料理のワンポイント
ピザ生地にうどんを使い、全てつぶさず形を残す。めんつゆに片栗粉を入れとろみをつける

お便り

市民の方から寄せられた広報させばへのご意見や感想などを紹介します。

ご意見・感想

毎月、佐世保市のイベントや暮らしの情報などを届けていただき、ありがとうございます。紙面もですが、広報させばを配布してくれるときの町内会の方とのやりとりも、私の楽しみの一つです。デジタル社会の現代ですが、その月の変化をお知らせしてくれる大切な一冊です(40代・女性)

秘書課広報係から

お便りありがとうございます。広報させばなどの配布物は、毎月、町内会や自治会の皆様のご協力によって各家庭に届けられています。町内会は地域に住む皆さん同士のつながりや絆によって成り立つ

ており、配布の際のやりとりがその一つのきっかけとなっていることを大変うれしく思います。少子高齢化や核家族化が進み、町内会への加入者が減少していますが、本市では重点プロジェクトとして「地域の絆プロジェクト」に取り組んでおり、今後とも町内会への加入促進や地域コミュニティの活性化に取り組んでいくこととしています。

また、広報させばでは今月号から地区自治協議会の代表者などのインタビュー記事を連載します。それぞれの地域を支える皆さんに、地域ならではの取り組みや魅力などを伺ってまいりますので、今後ともご愛読いただきますようお願いいたします。

広報クイズ

問題の○に当てはまる文字等をお答えください。ヒントは紙面の中にあります。

問題1

食べることは命を支える大切なことであり、おいしく、しっかりと食べるためには、○と口腔の健康が欠かせません。

問題2

「○○カード」とは、障がいのある人などが災害時や緊急時などに、周囲の人に提示することで手助けを求めるものです。

問題3

「第1回佐世保市公式 SNS ○○○○○○キャンペーン」を実施します。

「広報させば」満足度アンケート

次の①～④のうち、当てはまる番号をお答えください。

①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満

応募方法

「はがき」または「Eメール」に、①クイズの答え②「広報させば」満足度アンケートの該当番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦広報紙へのご意見を書いて、7月23日(月)までに(消印有効)広報係へ。※応募は1人1通、全問正解者の中から抽選します。発表は発送(8月中旬)をもって代えさせていただきます。6月号の答え ①湾クラブ ②町内会 ③集中 5月号の応募状況 296通(正解274・不正解19・無効3)

宛て先

はがき 〒857-8585(住所不要) 佐世保市役所秘書課広報係宛
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp(携帯電話からも可)

7月号プレゼント

佐世保産
マンゴーとブルーベリー



3名様 ※写真はイメージです。

九十九島の太陽をたっぷり浴びたプリンセスマンゴーとブルーベリー「あいあいの雫」を3名様にプレゼントします。佐世保の旬の味をお楽しみください

☎堀内フルーツファーム ☎76-7677



左記の画像を読み込むと応募画面が表示されます。